



MESSAGE NOTES

感謝の心で自由にされる

コロサイ人への手紙 4:2-6

ロイド・フラハティ

コロサイ人への手紙 4:2-6

たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。3 同時に、私たちのためにも祈ってください。神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。この奥義のために、私は牢につながれています。4 また、私がこの奥義を、語るべき語り方で明らかに示すことができるように、祈ってください。5 外部の人たちに対しては、機会を十分に活かし、知恵をもって行動しなさい。6 あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいか分かります。

1. 目を覚まし、感謝をもって コロサイ人への手紙 4:2 “たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。”

愛する天のお父さんが私たちのために何を計画されているか、心を配り、感謝する必要があります。それは、神様がされていることと私たちが足並みをそろえることができるためです。

2. 希望と期待に満ちて コロサイ人への手紙 4:3 “同時に、私たちのためにも祈ってください。神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。この奥義のために、私は牢につながれています。”

パウロはよく祈り、扉が開かれることを期待し、何があっても福音を分かち合うことができるようにと祈っていました。

コロサイ人への手紙 4:4 また、私がこの奥義を、語るべき語り方で明らかに示すことができるように、祈ってください。”

・・・パウロの祈りはキリストの奥義をはっきりと示すことができるように、というものでした。

3. 外部の人たちに対してどのように行動するか

コロサイ人への手紙 4:5-6 “「5 外部の人たちに対しては、機会を十分に活かし、知恵をもって行動しなさい。6 あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいか分かります。」」これは、キリストの奥義をどのように分かち合うかに関する明確な指示です。

まとめ：感謝し、神様が何をされているかに気づきましょう。目を覚まして祈りましょう。神様が私たちに知恵を与えてくださるので、キリストの奥義をはっきりと伝えることのできる知恵を求めて祈りましょう。神様があなたに計画されている働きに参加しましょう。クリスマスは、この奥義を分かち合うすばらしい時です。

詩篇 100 “全地よ主に向かって喜びの声をあげよ。2 喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。3 知れ。主こそ神。主が私たちを造られた。私たちは主のもの主の民その牧場の羊。4 感謝しつつ主の門に賛美しつつその大庭に入れ。主に感謝し御名をほめたたえよ。5 主はいつくしみ深くその恵みはとこしえまでその真実は代々に至る。”